



# 未成年者喫煙どう防ぐ

## 青森で県対策検討会が会議

### DVD活用法で意見交換

県未成年者喫煙防止対策検討会（議長・中路重之弘前大学大学院教授）の会議が20日、青森市内で開かれた。

県が今年度実施している事業を紹介し、関係

DVDの効果的な活用方法などを話し合った検討会

者がより効果的な取り組み方法などについて意見を交わした。

県は今年度事業に「親子の防煙対策推進事業」として、未成年者や保護者に喫煙防止を働き掛けるDVDを

作成。子どもが集まる教育機関や自動車学校などへ配布したほか、

テレビCMで放送していることを報告した。

県が昨年度、未成年者を対象に実施した「未成年者喫煙等実態調査」では、中学1年生と高校3年生の男女

共に喫煙率は改善傾向だったが、保護者が喫煙していると、子どもが親からたばこを買っ

てもらったり親のたばこを吸ったりと喫煙する機会が多くなること

から、委員は「親子の間にある喫煙を断絶する必要がある」と指摘。

DVDの活用については、「親子で来院することが多い小児科や耳鼻科などにも配布す

べき」「小学校で空き時間に流すべき」などの意見が出された。

（下山静香）